

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2002-20498 (P2002-20498A)

【公開日】平成 14 年 1 月 23 日 (2002.1.23)

【出願番号】特願 2000-211438 (P2000-211438)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 J 3/16

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 7/02

A 6 1 K 7/025

A 6 1 K 7/031

A 6 1 K 7/032

A 6 1 K 7/04

C 0 8 L 101/00

C 0 9 B 67/02

C 0 9 C 3/10

【F I】

C 0 8 J 3/16

A 6 1 K 7/00 A

A 6 1 K 7/00 J

A 6 1 K 7/02 P

A 6 1 K 7/025

A 6 1 K 7/031

A 6 1 K 7/032

A 6 1 K 7/04

C 0 8 L 101/00

C 0 9 B 67/02 Z

C 0 9 C 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 15 日 (2004.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエチレン、ポリスチレン、ナイロン樹脂、テフロン及びエチレン・酢酸ビニルコポリマー (EVA) よりなる群から選ばれた少なくとも 1 つの熱可塑性樹脂並びに少なくとも 1 種の化粧品法定色素から実質的になる略球状の複合粉体。

【請求項 2】

ポリエチレン、ポリスチレン、ナイロン樹脂、テフロン及びエチレン・酢酸ビニルコポリマー (EVA) よりなる群から選ばれた少なくとも 1 つの熱可塑性樹脂並びに少なくとも 1 種の化粧品法定色素から実質的になる略球状の複合粉体を配合した化粧料。

【請求項 3】

口紅、頬紅、ファンデーション、マニキュア及びアイカラーよりなる群から選ばれた請求項 2 記載の化粧料。

【請求項 4】

熱可塑性樹脂及び少なくとも 1 種の化粧品法定色素から実質的になる熱可塑性樹脂組成物を、この組成物と相溶性のない分散媒と共にこの組成物の融点以上の温度に加熱して混合し、微粒子に分散する工程、及び

得られた熱可塑性樹脂組成物の微粒子をその融点以下の温度に冷却して、平均粒径が 1 μm 以上 10 μm 以下の略球状の複合粉体とする工程、

を含むことを特徴とする

略球状の複合粉体の製造方法。